長野県上田千曲高等学校関東同窓会　　令和3‐4年度第1回役員会議事録　　　　　　　　2022.1.26

議事録作成：関東同窓会事務局　坂田和夫

・開催日時：令和４年（２０２２年）１月１２日（水）　１３：３０～１６：２０

・開催場所：北区赤羽会館　４Ｆ　第４集会室

**令和３‐４年度第１回役員会審議事項**

〇　中村事務局長より挨拶　本会議はコロナ禍ではありますが、今年度事業予定（総会）・各部会の実施状況の

把握・同窓会活動参加者増をどう図るかの審議を目的に、会則第１９条に則り会長が招集し実施するもの

である。

　　本会議は本日参加者１０名、議事審議一任者１０名、計２０名となり会議は成立する旨宣言。

＜出席者＞：1.杉崎会長、2.荒木副会長・部会長、3.塚田会計監査・4.中村事務局長、5.小林部会長、

6.坂田部会長、7.上ノ山理事、8.竹内理事、9.高野理事、10.柳沢理事

＜欠席者＞：1.内堀副会長、＊2.人見副会長、3.沢崎会計監査・＊4.三浦部会長、＊5.髙橋部会長、

6.滝沢理事、＊7.一之瀬理事、8.坂口理事、＊9.内堀(栄)理事、＊10.寺島理事、

＊11.押兼理事、＊12.馬場理事、13.武者理事、＊14.若林理事、＊15.飯田理事

（＊印：議事審議一任者）

１．杉崎会長挨拶

①コロナ禍によりここ２年間、同窓会の事業がほとんど出来なかった。本校との交渉、段どりに

ついては、先は読めないが、同窓会は止まってはいけない。段どりは進めていくしかない。

②HP（ホームページ）の方向性を作っていくことが大事。会員に対するサービスに期待する。

　各科部会においては、活きた名簿となるよう整理・精査をして頂きたい。

③卒業生の同窓会費を活動費（関東）に活用できないかどうかを本校（本部）に依頼している。

④現在、同窓会本部との間で、支部助成金の交付については、協議・折衝中である。

⑤関東同窓会はあと２～３年で５０周年を迎えるが、どう迎えて行くかの協議も必要である。

⑥関東同窓会の会計については、中間報告であるが、近年良い方向になって来ている、コロナに負けずに

頑張っていきたい。まずは、関東同窓会第４８回総会に向け実りある審議をお願いしたい旨挨拶。

２．今年度（Ｒ４年）の事業予定について

　　中村事務局長より、今年度の事業計画の中で、

　２．１）関東同窓会総会（第４８回）をどうするかについて、開催の方向で提案あり。

　 「長野県上田千曲高等学校関東同窓会　第４８回総会」は開催したい旨の提案。

　　・開催日時：令和４年（２０２２年）１０月１５日（土）又は１０月２２日（土）

　　・開催会場：アリスアクアガーデン東京　銀座店

　　・実行委員：電気科部会　実行委員長　坂田部会長

-1-

　★この提案については、役員の方了承。会場については他にいいところがあれば、提案を受け検討することに

なった。コロナ禍でもあり、もし、中止の場合にキャンセル料が発生しない様に予約する時に考慮していく。

２．２）各科部会実施状況　　中村事務局長より案内

①各部会名簿については、大分整理されて来ているが、活きた名簿にしてほしい。

　A：物故者を含めた全体名簿。　B：生存者名簿（総会案内送付他）。　C：目的別名簿（ゴルフ等趣味）

　３月末までに各部会において精査をお願いしたい。６月末には総会案内送付者名簿の提出をお願いしたい。

②前回合意した、狙いの世代層については、掘り起こしターゲットとして、Á：７０才～５５才、重点世代

　として、ターゲットB：７０才～５０才に拡大して掘り起こす。

③本部同窓会掌握の関東同総会関連名簿（100周年記念事業時掌握の株式会社サラトのデータ）の

入手あり。

③各科部会の開催状況については、機械科部会で今のところ１/３０(日)で予定している。他の部会は

まだ開催は出来ていないが、建築科部会、商業科部会は部会長を中心に役員で協議され、会員の

名簿整理・掘り起こしが進んでいる。

1. 同総会活動参加者増について　（参加者全員による意見交換）

　　テーマ：「同窓会活動への参加者を増やすために今、何をしたらいいか」

　３．１）まずは、建築科部会の取り組みから、荒木建築科部会長が別紙レジメにより説明。

　　　・「関東の現状共有と参加者増の為に何が必要か」

　　　１：問題点（集まりが悪い）

　　　　　　　　　　　１．少子化で上京する人が少ない。

　　　　　　　　　　　２．千曲高校の卒業生がつかめない。（関東に来ている人の掌握が出来ない）

　　　　　　　　　　　３．実家に所在確認が出来ない。（プライベート）

　　　　　　　　　　　４．欠席者：同総会に関心がない。（同期とつきあっていない）

　　　　　　　　　　　５．社会の構造変化（業種的に）

　　　　　　　　　　　　・30年代：復興・インフラ・都市開発。（建築：人数が多かった）

　　　　　　　　　　　　・平成・令和：ハイテク・通信・サービス業。（頭脳）

　　　　　　　　　　　６．千曲高校（学校）での、消息把握は出来ていない。

　　　２：たとえば

　　　　　　　　　　　１．社会変化で当高校の学科別に上京変化がある。

　　　　　　　　　　　　　建築・家庭・商業などは、非常に少ない。

　　　　　　　　　　　２．各科単位で、事業を行うことが人数的に困難。

総会の運営等に順番が来ても自信がない。チーム中心に事業を進める事が必要。

　　　３：仮に(もしも)

1. 各科単位で、事業（総会）を行うには、会場交渉などが不慣れで、運営が

スムーズに行われない。

　　　　　　　　　　　２．各科単位だけでは、要員不足になる。

　　　４：結論

　　　　　　　　　　　１．総会時の運営は、各科共同で行う。（役割分担で）

　　　　　　　　　　　２．開催の回数　----------毎年。隔年？

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　-2-

　　　　　　　　　　　３．運営の専門チームを作る。

　　　　　　　　　　 ４．参加者増員は短期間では出来ない。コツコツとやるしかない！

　　　　　　　　　　　５．役員の若返りを計る。

　　★　以上のような内容で、荒木建築科部会長より主旨説明があった。

　３．２）参加者役員の意見

①上ノ山理事（商業）：総会をやるにしても従来の様に６０名とかは無理、３０名とかに減少するのではな

　いか、少なくなっても継続すべき。懇話会、バス旅行を総会を兼ねてしている高校もある。

②塚田会計監査（商業）：総会は上野精養軒は費用敵にむずかしい。会場はアリスアクアガーデンでいいの

　ではないか。他に安くできる場所があれば検討をしたらどうか。

③竹内理事（機）：総会は是非開催してほしい。知った人に声をかけてきたがなかなか進まない。機械科部

　会では、会社名から同意を得て、同窓生を発掘している。上田の同窓生を新幹線で東京へとの声掛け

もし、同級会を上野で開催し、上田からの参加者もあった。

④荒木部会長（建築）：上田から東京へとの流れいいと思います。

　本校同窓会会報に是非とも関東同窓会開催の案内を掲載してもらいたい。

⑤高野理事（機械）：コロナ禍でもあり、無条件でキャンセル出来る会場選びも考えたらどうか？

⑥柳沢理事（機械）：総会はやることを前提に、総会に先立ち各部会の総会を同会場にて開催できないか？

⑦中村事務局長：総会は開催前提で、事務局にて内容をとりまとめルことにする。１０/１５or１０/２２を

　開催日として、会場、内容を検討し、次回の役員会に計る。会報の発行もあるので、６月又は７月の

初旬に予定する。また、本部からの名簿については、100周年記念事業の際に掌握した、

（株）サラトのExcelデータを各科部会ごとのデータにメンテナンスして各部会にデータで送ります。

⑧柳沢理事（機械）：機械科部会の活動者数増の取り組みにつき報告あり。機械科では、役員で手分けをし

　て名簿の精査に取組み分析結果をグループ分けした。

　・部会のみでる：７８名、・総会だけでる：４名、・総会案内中止者：１０９名 、

総会案内見合わせ： １３８名、物故者：１３２名 　合計で３５１名　　総会の案内の返信：

２０名～２５名

⑨中村事務局長：この結果に対して、総会案内見合わせの１３２名に関し、再度検討し、フィードバック

　出来る人はいないかを確かめてほしいと要望した。

⑩柳沢理事（機械）：それに対して、機械科役員の主観のみで判断していた事は否めないので、再度

見合わせのメンバーについては再考すると回答あり。

⑪坂田部会長（電気）：電気科の場合、最初の卒業生が、昭和３６年の為、総会案内名簿も、全体の名簿も

　ほぼ同じで、昭和３７、３８年ごろまでは掌握出来ているが、昭和の終りごろから平成、令和の

関東への卒業生の掌握が進んでいない。本校のデータからの新たな発掘がのぞみである。

⑪高野理事（機械）：６０才以上で総会に参加される方は、楽しみに来て下さるが、会場で知り合いが誰も

　おらず、一人ほったらかしにされるといやになる。総会に来たら一人ボッチにしてはダメでイベントの

　在り方も考えなくてはいけない。

⑫塚田会計監査（商業）：イベントに面白味を入れるとか、銀座で飲み会をするとか、神田川を船で下ると

　か、室内だけではなく、３回に1回ぐらいは外での催し物を企画したらどうか？

⑬上ノ山理事（商業）：商業科の取組につき報告あり、小林部会長を中心に、役員で総当たりし、

分析した。小林部会長に表にまとめて頂いた。

・商業科部会総数＝１８５名　内訳 男性：６０名、女性：１２５名

-3-

・案内状発送数＝７２名　内訳 男性：３９名、女性：３３名

・案内状発送年代別会員数　８０代　男性：１０名、女性：１名

　　　　　　　　　　　　　７０代　男性：２３名、女性：３０名

　　　　　　　　　　　　　６０代　男性：　６名、女性：２名

・案内状送付していない会員：１１３名に対して、再考してアプローチ先、ターゲットを見つけていく。

　５０代、４０代の年齢層も含めて検討していく。という結果となりました。

⑭杉崎会長：総会自体のやり方の検討も必要であり事業報告・事業計画の総会での時間短縮にも工夫が

必要。同総会を盛り上げるには、現在総会案内状（関東同窓会報）送付を「見合わせている会員」の

再考とアプローチをする事が不可欠であり、現在活きた名簿人数が、６００名であるが、会報・案内状

だけでも出しておこうというメンバーの数が、精査・再考し増加することを望みたい。

　そのための通信費は、本来の活動費でもあり、本校同総会から助成金として援助して頂きたい点でも

ある。

　関東同窓会の運営上の会計については、関東同総会則制定・実施により、特別会員制度ができ、

特別会員になって頂いた方のおかげで好転はしております。しかしながら健全な会の発展の為には、

同窓会活動に参加する活動者をコツコツと増加していくしかない。

⑮中村事務局長：従来の総会は、過去のやり方を踏襲してきている。屋形船等新たなイベントのやり方も

　あり、いろいろなやり方を考える時期にも来ている。任意団体である当会は、来て楽しい場となら

なければ意味がない。

⑯坂田部会長（電気）：総会は当会にとっての「最高議決機関」でもあり、総会で、事業報告・決算報告・

　会計監査報告・事業計画の議事に対する審議をしない訳にはいかない。議事の審議の場は持つことは

前提としていかに効率的に議事を進め、会員と交流の場を作って行くかが課題と言える。

⑰杉崎会長：これを機会に、各部会で新たに活動出来る人間の把握をして頂きたい。そのために、活動費

　の補助（通信費）をしていきたい。

⑱中村事務局長：再度名簿の件確認。A：基本名簿（物故者を含む）　B：生存者名簿（活きた名簿：総会

　案内状送付）　C：ターゲット名簿(ゴルフ等、趣味別)をしっかりとまとめる。

　(株)サラトのデータを各部会ごとにソートして送りますので、各部会ごと精査をして役立てて頂きたい。

⑲塚田会計監査（商業）：総会の懇親会のやり方につき、ビンゴゲームなどを取り入れたらどうか。新しく

　来た方へは、しゃべらす機会を設ける。一人にさせない工夫も必要である。

⑳竹内理事（機械）：総会の他にイベントを催す。戸外と室内の２本立てで、銀座に集合し、散策のあと懇

　親会とかを実施する。バス旅行を企画するとか、部会においては、京王線のロマンスカーによる旅と

か、新しい試みを考えるのも良いのではないかとの意見もあり。

　３．３）本日の役員会のまとめ

①第４８回関東同窓会の総会は、10/15（土）または10/22（土）に実施する。

②会場については、今のところ銀座のアリスアクアガーデン東京で具体的内容については、事務局で

実施案をまずは策定し、役員の皆様に提示する。

③同窓会活動者増の取組みについては、本日の役員会で各部会役員の皆様の様々なお声を聞くことが

出来、非常に有意義であった。これを参考に各科部会での今後の活動に役立てて頂きたい。

④各科部会での活動者増の取組みについては、各科で部会を開催頂き、３月末までに名簿を精査をする。

-4-

その際、「総会案内状の送付を見合わせている会員」につき再考し発送出来る活きた名簿の人数を

増やす。

⑤各科部会の開催に当たっての活動費（交通費・通信費）の援助を行う。

４．その他

　 ・次回の役員会については、６月か７月上旬に予定したいと思いますが、日にちが決まりましたら、事務局

より連絡させて頂きます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

-5-